



## 訪問看護を通じ「地域共生社会」の実現にむけて

訪問医療事業部  
次長 鈴木 博志

「人々はあまりにも多くの壁を造るが架け橋の数は十分ではない」万有引力で有名なアイザック・ニュートンの言葉です。スマートフォンも電気自動車もない時代の物理学者の言葉ですが、心に響きます。

さて、日本の社会は類をみない速度で超高齢社会に突入しています。厚生労働省は団塊の世代が75歳以上になる2025年を目処に、住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」を最期まで続ける事ができる地域包括ケアシステムの構築を推進しています。また精神障害についても、2004年に精神保健医療福祉の改革ビジョンで「入院医療から地域生活中心へ」という基本方針を示し、2018年の「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」では、精神障害者も地域の一員として「安心して自分らしい暮らし」ができるように対応した地域包括ケアシステムの構築も目指しています。これらは私たち地域住民も含め、一人ひとりの暮らしと生きがいを地域と共に創る「地域共生社会」の実現を目指すというものです。

今、私が取り組んでいる訪問看護という活動は、安心した暮らしを支える「階段の手摺り」のように感じています。自分の力で歩いている時は不要なものですが、(病気という)大きな荷物を抱えている時や(加齢という)足元が弱ってふらついている時、(障がいという)車椅子を使うような時には支えになると信じています。

しかし訪問看護を行う中で、地域に住む人達が様々な「壁」に阻まれている姿をしばしば見かけます。私たちの活動では「あなたの暮らしと夢の架け橋になりたい」をモットーに日々取り組んでいます。ニュートンが言うように壁は多くありますが、この活動を通じて橋を一つでも増やす事ができると信じて、これからも皆様の地域に足を運びたいと思います。

自動車メーカーのフォードを創設したヘンリーフォード氏は「できると信じる、できないと信じる。どちらもその通りになる」と言ったそうです。

私はできると信じています。



## 第21回 共和病院 地域医療フォーラムを開催して

「あの人発達障害じゃない？」

医療現場の枠を超え社会全体としてこの言葉をよく耳にしませんか？日常的に何かトラブルがあったり、そこまで至らずとも“空気が読めない”言動がある人を見る場面で、ここ最近本当によく耳にします。現に当院精神科外来における初診の症例でもそういった他者（具体的には学校の先生や会社の上司・同僚など）からの指摘を受け受診される方が増えてきています。少なくとも私にはそのような印象があります。では、実際私たちは社会全体として潜在的な方も含め発達障害を抱える方とどのように向き合っていくべきでしょうか。端的に言うとその一つの道筋を示した会だったのかもしれませんが。

令和2年1月18日（土）、当院において第21回共和病院地域医療フォーラムを開催しました。第一部では「社会に出るまでに身につけておきたいこと～発達障害 学校から社会への準備」というテーマで当院名誉院長 榎本和医師より講演がありました。発達障害とはどういったものなのかから始まり、後



半では先生自身が経験した症例をもとに貴重な話を聞くことができました。一番苦しんでいるのは本人です。生きていく中で人間関係を中心に社会に適応できない苦しみや孤独は相当なものと感じられます。その中で講演を聴き、幼児期においても思春期・青年期以降においても周りの理解があることが一番重要であると感じました。なぜなら環境はもちろん、周囲の理解や支援があればその方の得意なことを活かし今後の人生設計に前向きになることができるかもしれないからです。

冒頭で突飛な会話文で書き始めましたが、こういった言葉が最近になって頻繁に聞かれ過熱しているというのも発達障害という言葉ばかりが目立一人歩きし、その後の対策はまだまだ遅れているという背景があるのだと思います。社会に適応するために、ひいては本人が自分らしく生きるために大切なことは、できないことや苦手なことを完璧に克服するのではなく、その特性を把握し工夫することであることを学ばせてもらいました。本人は診断されるだけで、周りからの理解があるだけで救われることは多く、あとはいかに欲しい社会資源を構築できるか、いかに見えない社会的障壁を我々社会がなくす努力ができるかだと考えます。そう考えると、この問題に取り組むことは社会全体を豊かにすることと同義なのかもしれない、とも感じました。



榎本和医師

診療部 國井 健司

### 地域活動報告

第二部では、就職トレーニングセンターの辻孝志様、たくと大府の林大輔様、愛知県立春日台特別支援学校の小林雅代様を交えて、パネルディスカッションを行ないました。



辻様からは、就職トレーニングセンターの活動報告とともに、「社会に出るために必要な力」の獲得はなかなか難しいことであることから、「発達障がいの方をどのように会社側に理解していただき、働きやすい環境を構築していくか」という視点からの取り組みを具体的に説明していただきました。

林様からは、たくと大府で強度行動障害の方々の方に合わせた環境整備の大切さが語られました。「知的機能が重要ではない。適応機能が大切」と社会に出ると「適応機能の高さ」が求められること、信頼関係がないと支援者の言葉が「注意されている」と感じてしまうというお話は、支援者としてとても大切な視点であると感じました。

小林様からは、愛知県立春日台特別支援学校の高等部での教育についてお話があり、社会に出るときに必要な力として「は



辻孝志様



林大輔様



小林雅代様

るひ5カ条」を入学時から取り組み、生徒達とラポール（信頼関係）を築くことの大切さ、そのためには生徒達から認めてもらえるように努めておられるお姿が想像できるようなお話でした。

続いて、当院公認心理師の来多を座長として、ご来場の皆様と一緒に「社会にでるために身につけておきたいこと」についてのディスカッションを行ないました。

今回は、障がいの理解と共に「環境を整える」大切さが「社会にでるために」必要なことであると、我々支援者だけではなく社会全体で考えさせられるフォーラムとなりました。

次回は、今回のテーマを踏襲する形で「豊かな社会生活をおくるために～発達障害 社会に出てからの支援～」をテーマに、第22回共和病院地域医療フォーラムの開催を予定しておりますので、どうぞご期待下さい。日時については、新型コロナウイルスの影響により未定となっております。ご了承下さい。  
フォーラム実行委員長 稲田 朋也

## もしバナゲームをきっかけに

みなさん、アドバンス・ケア・プランニング（以下略ACP）をご存じですか？ ACPは病をきっかけにして、みんなで今後の治療や療養について、あらかじめ話し合うことです。ACPは治療の選択だけでなく、一人ひとりにとっての気がかりや大切にしたいこと、そしていつか訪れる人生の最期をどう過すか、という幅広い内容を含む話し合いのプロセスです（iACPより）。

自分の人生の最期がどう在りたいか、それを伝えることが大切なのですが「縁起でもないから」という理由で避けてはいないでしょうか？

もしバナゲームは、もしもの時の想定で自らの価値観をみなで話し合うきっかけを作ってくれます。4人1組で行うゲームで、1セット36枚のカードが入っており、うち35枚には、重病のときや死の間際に「大事なこと」として人がよく口にする言葉が書いてあります。たとえば「どのようにケアして欲しいか」、「誰にそばにいて欲しいか」、そして「自分にとって何が大事か」、という内容です。これらのカードが各人5枚配られるので、取捨選択を通して自分自身が大切にしていることに優先順位をつけ、その思考プロセスを言語化し、それをグループで共有し合います。

ゲームをやってみると、「家族の負担にならない」「家族が私の死を覚悟している」など家族への想いを大切にしている人や、「いい人生だったと思える」と人生の最期によかったと思えるようにしたい、という思いを話してくれた人もいました。大切と思うものがそれぞれ違いますね。

もしもの時の縁起でもない話を、当たり前のように話し合う機会を増やしていきたいです。

看護師 熊谷 貴子



## 技能実習生を受け入れて

外国人に対する技能実習制度（以下「技能実習制度」という）は、日本で開発され培われた技能、技術又は知識の開発途上国等への移転を図ることにより、その国の経済発展を担う人を育てる「人づくり」を目的として創設された日本の国際協力のための制度です。

この制度は1993年の創設以来20年以上にわたり機能し成果をあげてきました。

当院でも昨年6月に技能実習生の受け入れを決めました。インドネシアから介護福祉士の技能実習生をご紹介いただき、半年間をかけてスカイプで面接を行いました。そして書類選考を経て必要書類の準備をしてきました。さらに、実習実施機関として技能実習責任者および技能実習指導員を選任しました。

長い準備期間を経て、共和病院においでになられた3人をご紹介します。

スラストリロナウリグルトム（以下スラさん） トミー アンジャスマラファ

ウキー（以下トミーさん） ベキ アブドゥル ガフル スサント（以下ベキさん）です。

スラさん、トミーさん、ベキさんは、2019年12月18日に来日されました。今年は暖冬ですが、インドネシアから来た彼らにとっては「日本は寒い」と言っていました。初めて雪を見ることもできたそうです。

高浜市の 트레이ディング ケア センターで2ヶ月間の研修（日本の生活の仕方、仕事の仕方、介護について）を終え、いよいよ2020年2月17日より当院の医療療養病棟へ勤務開始です。スラさんはC-2病棟、トミーさんとベキさんはA-5病棟の配属になりました。

スラさんは、すてきな旦那様と小さなお子さん2人が母国にいらっしゃいます。ご家族とのお別れは辛かったと思いますが、持ち前の明るさと元気さで楽しく仕事をされています。家族思いのトミーさんは、母国を離れる時に溢れる思いからたくさんの涙を流しま



看護部の病棟責任者と、技能実習生のみなさん  
左側2人目から、スラさん、トミーさん、ベキさん

した。その優しさを患者様に提供していただいております。ギターが上手でユーモアがあるベキさんは、奥様とお子さんが母国にいらっしゃいますが、単身で日本に学びにきました。いつも笑顔で患者様や私たちを癒やしてくれています。

3人には共通の目標があります。それは、介護福祉士の免許を取得すること。さらにスラさんとベキさんは日本で家族と暮らしたいと思っています。そんな3人の夢をスタッフ一同応援させていただきます。皆様、がんばり屋の3人をよろしく願います。

看護部次長 安藤 三津子

## 編集後記



当院でも海外からの技能実習生の受け入れが2月から始まりました。私は6年前から日本語教室のボランティアに参加しています。20代30代の若い世代の人が平日の仕事で疲れているにも拘わらず教室にやって来て熱心

勉強し、イベントにも積極的に参加する姿を見てきました。私もパワーをもらっています。

「日本に来てよかった」と思ってもらえるような後押しができれば…と思っています。

広報誌委員会 大葉 聡子



## 職場体験学習を通して



当法人では、毎年 職場体験学習を目的とする学生さん（中学校2年生）を受け入れています。

大府市内の各中学校、有松中学校等から、毎年夏と冬に分けて、各校4名ほど集まります。医師や看護師、理学療法士などの専門職に興味をお持ちの方から、医療の現場で働いてみたいと考えている方など、学生さんは様々な目標を持っています。



受け入れる我々も、当法人の医療から生活援助までの様々な現場を活かして、病院の受付・外来から診察・検査までの流れ、外来診察終了から会計までのしくみ、病棟患者様への援助、デイサービスや通所リハビリテーションでの支援などの体験を通して、次のことを学んでほしいと思っています。

- ①患者様（ご利用者）お一人おひとりに、多職種によるチームワークで関わる大切さ
- ②幅広い年齢層が働く現場での礼儀や、コミュニケーションの大切さ
- ③仕事に対する責任の重さ、やりがいを感じてもらう
- ④様々な職種を知ることにより、将来なりたい自分を想像する

仕事のやりがいや達成感に到達するまでには、様々な努力と学びの繰り返しがあり、それが当法人の理念「優しい医療・楽しい職場」につながります。職場体験学習を通して、ご自分の未来を見つめる良い機会になれば良いと思います。



ボランティア支援委員会 丸山 浩史

### ★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00～19:30

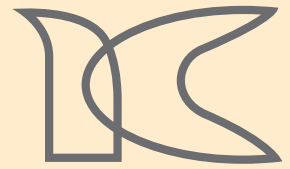
**MID-FM 76.1**

ラジオパーソナリティー  
共和病院 副院長 松下 直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに温かいメッセージをお送りします。是非お聞かせください。

## おもいやり共和のキラキラチアナイト

当院HPから過去の放送分も聴くことができます。



共和会理念

### 『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

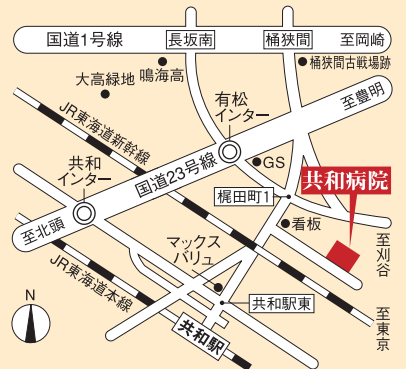
- 職員のチームワークと創造性が高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

### 基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

## 共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

### 診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科  
精神科・心療内科・循環器内科・肛門外科  
放射線科・リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

### お知らせ

8月13日(木)～8月16日(日)は、お盆につき外来診療を休診させていただきます。